

青森市のミスねぶたもお祝いにかけつけました
弘前城ミスも弘前ねぶたとともに応援です
『馬花道よさこい』がステージいっぱいに踊りました

「10市が連携してまちづくりにまい進します」



「ごみいただきます」と、おもてなし隊が会場のごみ拾いに大活躍でした



馬のまち十和田市にちなんで、小山田久市長が馬に乗って登場しました



「B-1 グランプリ日本一の十和田バラ焼きゼミナールが作るバラ焼きを、召し上がってください」とPR



十和田ブランドフェアで本市自慢の野菜を販売しました



各市のゆるキャラが大集合して、来場者を喜ばせました



10市の市長たちも馬に乗って登場し、「あおり10市大祭典in十和田」が開幕しました



五所川原市の十三湖しじみすくい取りに、大喜びです

開会式典では、各市の市長や副市長が馬に乗って登場。県市長会の小野寺晃彦会長（青森市長）は「大祭典を大きく成長させていきたい」と主催者を代表してあいさつしました。

9月23日のパレードは午後6時ごろスタート（2、3ページ）。馬ねぶた（つがる市）を先頭に、各市のお祭りが続き、ライトアップされた山車が闇夜を鮮やかに彩り、八戸三社大祭や五所川原立佞武多、青森ねぶた祭のハネトの躍動的な乱舞、威勢よく響き渡る祭り囃子などが、沿道に詰めかけた観客の目の前で繰り広げられ、観客は多彩な祭りの魅力をたっぷり堪能しました。

最後尾には、テンポの良い本市の三本木小唄流しおどりが続き、会場を熱気に包みこみました。

イベント会場の中央駐車場のステージエリアやブランドフェア、お祭りパレードでは、B-1グランプリで誕生した三本木中生徒の「おもてなし隊」や、県立西高生徒、市民ボランティアが活躍。フィナーレでは小山田久市長が「温かい元気なおもてなしが来場者の胸に深く刻まれた」と感謝の言葉を述べたあと、「10市の思いを当市で発信させていただき光栄です。今後も10市が連携して元気なまちづくりにまい進したい」とあいさつし、閉幕しました。



スピードと迫力ある流鏝馬のデモンストラーションは、来場者に感動を与えました



「十和田湖ひめますを食べてみてください。とてもおいしいですよ」と十和田ブランドフェアでPR